



2021年2月2日

各 位

会社名 株式会社ラックランド
 代表者名 代表取締役社長 望月圭一郎
 (コード番号：9612 東証第一部)
 問合せ先 取締役管理本部長 鈴木健太郎
 (TEL 03-3377-9331 (代表))

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2020年2月14日の2019年12月期の本決算発表時に開示した2020年12月期(2020年1月1日～2020年12月31日)の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値の修正(2020年1月1日～2020年12月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 43,000	百万円 1,200	百万円 1,250	百万円 600	円 銭 62.57
今回修正予想(B)	37,000	△500	△390	△550	△57.36
増減額(B-A)	△6,000	△1,700	△1,640	△1,150	-----
増減率(%)	△14.0	△141.7	△131.2	△191.7	-----
(参考)前期連結実績 (2019年12月期)	40,366	1,106	1,045	915	111.79

2. 修正の理由

当社は、2020年12月期に引渡しを完了する予定だった大型物件に関し、工事自体は完了し、引渡しに必要な書類提出等の手続きや協議を同期末まで継続したものの、公共工事に準ずる工事であったことから協議が難航し、2021年度での引渡しになったことに加え、

新型コロナウイルス感染症の影響で全体的な設備投資の手控えの影響を受け、着工時期が2021年度へ延期になった多くの案件があり、2020年2月14日に「2019年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表した2020年12月期当社連結業績予想数値と比較して、連結売上高が60億円減少する見込みとなりました。

また、当社が以前から進めている利益率向上のための施策については、順調に進んでいるものの、連結売上高の減少に伴って売上原価の固定費をカバーすることが出来ないことに起因して、連結営業利益、連結経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益についても2020年2月14日公表の連結業績予想数値を下回る見込みです。

なお、今回の通期連結業績予想の修正にあたり、1株当たり当期純利益の算定の基礎となる期中平均株式数は前回発表予想の9,589,037株から9,589,192株へ変動しております。

(業績予想に関する注意事項)

上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものです。実際の業績は、様々な要因により、この予想とは大きく異なる場合があります。ご了承ください。

以 上